

高槻市

かるたで「食育」

～みんなの句で食育かるた作成～

食育とは

最近、「食育」について頻繁にテレビ、新聞などマスコミに取り上げられています。みなさんは「食育」という言葉をご存知でしょうか。

「食育」とは、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」とこととされています（食育基本法より）。生活様式の多様化などにより、家族一緒に食べる機会が減り、家族がばらばらに食事をする「孤食」が増えるなど食生活をめぐる環境が変化しています。この変化に伴い、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加など、「食」に関する問題が大きくなっている中、自らが「食」について考え、判断する力をつけるための食育が必要となっています。

国の取組

国において、国民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とした食育基本法を制定、平成17年7月15日に施行されました。

そして、法に基づいて食育推進基本計画が平成18年3月に策定され、平成18年度から平成22年度までの5年間を対象として、食育の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために必要な基本的事項が定められました。今後は、同計画に基づき、国及び地方公共団体をはじめ、関係者が創意と工夫を凝らしつつ、その総力を結集して食育を国民運動として強力に展開することにより、国民が生涯にわ

たって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができる社会の実現を目指すこととされています。

市の取組

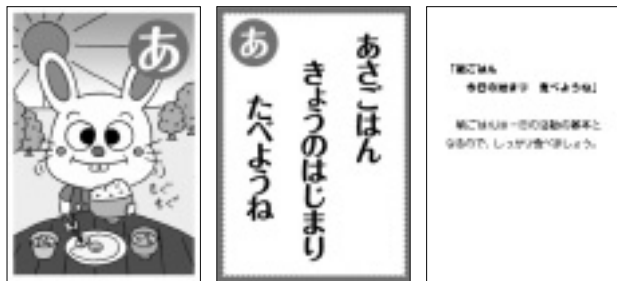
本市においても、「食育」を平成18年度施政方針の重点施策とし、市民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、食を大切にする心を育む教育、生活習慣病を予防するための健康保持、食材にかかわる食の安全、地産地消など幅広い取組を展開しているところです。

その一環として、子どもの頃から、食の大切さを遊びを通じて自然に理解してもらえるように、「高槻市食育かるた」を作成し、子どもたちへ配布することとしました。



食育かるたの作成

「家庭や学校、保育所などにおける食育」、「食生活の改善」など、食育に関するテーマで、かるたことばを広報紙や市のホームページを通じて募集しました。新聞に取り上げられたこともあり、小学生からお年寄りまで幅広い層からの応募があり、応募総数は1,615句に達しました。



どの句も甲乙つけ難い内容でしたが、栄養士資格をもつ職員による栄養学的な視点、子どもたちに分かりやすいかという視点など、多角的な視点からの選考を重ね「あ」から「わ」までの44句を決定しました。

次に、元プロのイラストレーターという経歴を持つ広報課職員が句に合わせて絵を描いていきました。できあがった絵についても、多角的な視点からの検証を行い、何度も描き直しを行いました。

さらに、読み札の裏には、保護者が子ども達にかるたの意味を教えられるように、食育の観点からの句の解説を記載しました。

このように職員の手づくりによって、かるたことばの募集から約5ヶ月後、「高槻市食育かるた」が完成しました。

完成したかるたは、市内の保育所、幼稚園、小学校1年生から3年生、学童保育室の各クラスなどに1セットずつ、合計700セット以上を配布しました。

## 食育かるたのお披露目

本市では、昨年の10月22日（日）、市内のJ Aや栄養士会など関係団体と連携し、食育を市民にアピールするため「高槻市食育フェア」を開催しました。



そのオープニングで、かるたことばの採用者に対して「食育かるた」の授与式を行いました。

この食育フェアで市民のみなさんに「食育かるた」取りを体験していただきましたが、大人にとっても、かるたは昔懐かしい遊びのようで、真剣になって取り合っておられました。また、テレビゲームに慣れ親しんだ最近の子どもたちにとっても、みんなで1枚のかるたを取り合うという素朴さが受けているようで、夢中になって遊んでいました。



## 食育かるたに対する反応

かるたの完成後、様々な反応がありました。完成した食育かるたは、カラー写真付きで新聞に掲載されたほか、ラジオ番組でも紹介されるなど、マスコミにしばしば取り上げていただきました。また、市民の方からは、「是非販売してほしい」との要望も多くあります。さらに、かるたを配布した保育所の中には、かるたをコピーして園内に掲示して食育の啓発活動に役立てているところもあるなど、予想以上の反響がありました。これからも、このかるたがいろいろな形で食育の教材として活用されることを期待します。

